KENWOOD

MP3/WMA対応CDレシーバー

E232

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation

Ⓒ B64-3899-00/02 (JW)

Contents

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

ここを読めば、ひととおり操作できます。

各ソースのいろいろなプレイ方法が書いてあります。ちょっと慣れたら読んでください。

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

「オーディオファイル」とは？

本書に書かれている「オーディオファイル」や「Audio file」とは、CD-R/RWに記録されたMP3, WMAファイルのことです。詳しくは「オーディオファイル」（p20）をご覧ください。

本書の読みかた

この取扱説明書では、イラストを使って操作を説明します。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。
このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

コントロールノブを押す

コントロールノブの操作を下の図で表します。

ノブの上側を押す

ノブの下側を押す

ノブの左側を押す

ノブの右側を押す

ノブの中央を押す

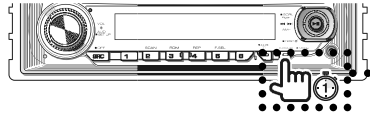
ボリュームノブを回す

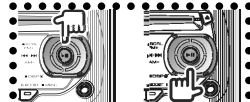
▼：次の段に続きます。
●：ここで終わりです。

メニュー設定

各ソースごとに、各種の機能を設定します。

1 ソースを切り替えます

2 メニューモードにします

▶ MENU

3 設定する項目を選択します

表示される項目は、ソースによって異なります。

4 各項目を設定します

表示	設定	設定概要	ソース
CLK ADJ	p19参照	時刻を設定します。	SB
DIM	OFF*/ON	ディスプレイの明るさを設定します。	
SPRM	ON*/OFF	サプリーム機能の設定をします。	AF
AUTO1/ AUTO2/ MANUAL	AUTO1*/ AUTO2/ MANUAL	放送局の選択方法を設定します。	Tuner
MONO	OFF*/ON	モノラル音声で受信します。	FM
NAME SET	p19参照	AUXソースに名前を付けます。	AUX

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

短く押す

で示したキーまたはノブを押す。

1秒以上押す

で示したボタンまたはノブを 1 秒（または 2 秒）以上押す。
動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。
左記では 1 秒間押すことを示しています。
押す秒数は時計の中の表示を目安にしてください。

ディスプレイ表示

この表示になるまで上の操作を行います。

その他のマーク

ケガなどを防ぐための大切な注意事項が書かれています。

特記事項や補足説明、制限事項や参照ページなどが書かれています。また、機種に依存する事柄も書かれています。

その項目での全般的な注意事項や参照ページなどが書かれています。

表示の切り替わり

操作するたびに、ここに示した順番で表示が切り替わります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

注 意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

禁 止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

実 施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

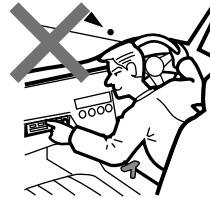
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

警告

実 施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入など）

実 施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

禁 止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。
お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

禁 止

本製品の分解や改造はしないでください。
火災その他の事故の原因となります。

⚠注意

禁 止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

禁 止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

禁 止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

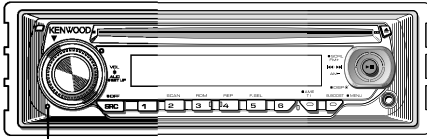
禁 止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

実 施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。
安全のため＜お買い上げの販売店＞にご依頼ください。

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、「Troubleshooting」（p20）および「Error」（p22）を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- ディスクが取り出せない。
- ディスクを正しく入れ直してもインジケーターの点滅が続く。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーソースにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

お手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。
スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。
本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。
このようなときは、車内の温度を下げてください。
保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

メディアの取り扱い

ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。
取り扱いは記録面に触れないようにしてください。
（レーベルが印刷されていない面が記録面です）

●

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。

●

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

●

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。
下側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。

●

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。
"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

●

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

●

8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

使用できないディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

●

記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

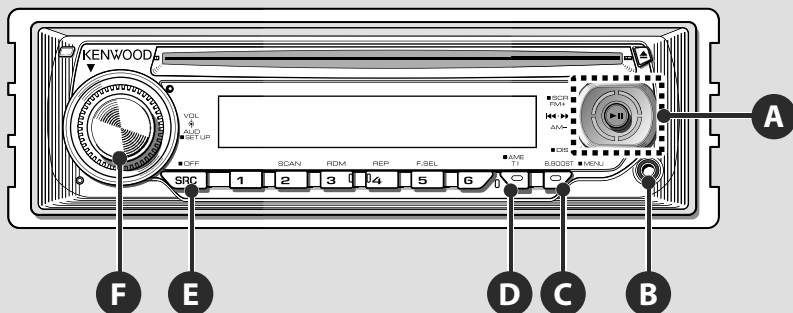
●

マークの付いていないCDは使用しないでください。
前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

●

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-RやCD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

Basic Operation

共通操作

E 電源をオン/オフします

押すと、電源がオンになります。

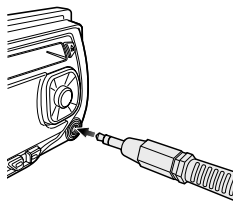
1秒以上押し続けると、電源がオフになります。

F 音量を調整します

C 低音を増強します

押すたびに次の順に切り替わります。

B 外部機器を聴きます

AUX端子にポータブルオーディオ機器などを、市販のミニプラグケーブル（3.5φ）で接続します。

次に Eを押して “AUX” ソースに切り替えます。

- 接続するミニプラグケーブルは、抵抗の入っていないステレオタイプのものを使用してください。

D 交通情報を聴きます

押すと、交通情報を受信します。

もう一度押すと、元のソースに戻ります。

- コントロールノブAの左右側を押すと、交通情報の周波数（522kHz/1620kHz/1629kHz）を切り替えることができます。
- 交通情報の受信中にFで音量を調整すると、交通情報受信時の音量が記憶されます。

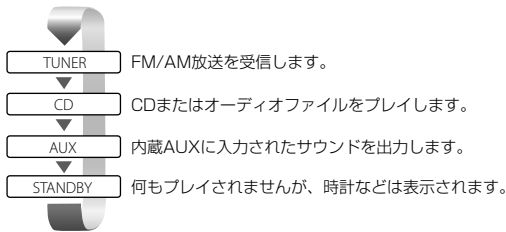
注 意　安全のために、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

時計の調整について

時計の調整はメニューで行います。詳しくは「メニュー設定」（p18）をご覧ください。

E

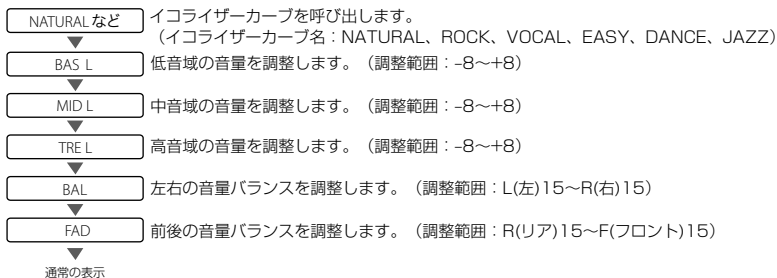
ソースを切り替えます

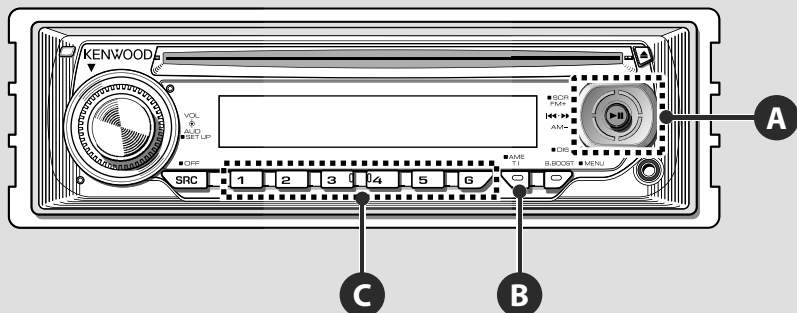
押すたびに、プレイ可能なソースが次の順に切り替わります。

- プレイできるオーディオファイルはMP3ファイルおよびWMAファイルです。これらのファイルを記録したメディアの種類、フォーマットなどについては、「オーディオファイル」（p20）をご覧ください。
- AUX表示は「ネームセット」（p19）で替えることができます。
- ディスクを挿入すると、挿入したメディアがプレイされます。

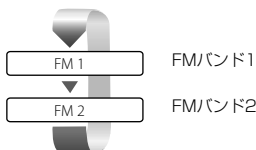
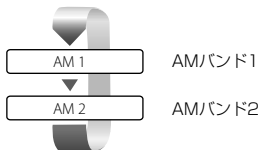
F

音質などを調整します

ノブを押して調整項目を選び、次にノブを左右に回して調整します。調整項目は次の順に切り替わります。

NATURAL など　イコライザーカーブを呼び出します。
（イコライザーカーブ名：NATURAL、ROCK、VOCAL、EASY、DANCE、JAZZ）
▼
BAS L　低音域の音量を調整します。（調整範囲：–8～+8）
▼
MID L　中音域の音量を調整します。（調整範囲：–8～+8）
▼
TRE L　高音域の音量を調整します。（調整範囲：–8～+8）
▼
BAL　左右の音量バランスを調整します。（調整範囲：L(左)15～R(右)15）
▼
FAD　前後の音量バランスを調整します。（調整範囲：R(リア)15～F(フロント)15）
▼
通常の表示

- イコライザーカーブ、低音、中音、高音は、ソースごとに設定できます。
- イコライザーカーブの値は、「スピーカー設定」（p16）の設定により変わります。先に「スピーカー設定」の設定を行ってください。
- “BAS L”、“MID L”、“TRE L” を調整するとその値が設定され、イコライザーカーブに “USER” と表示されます。
- イコライザーカーブの設定をすると、“BAS L”、“MID L”、および “TRE L” は、イコライザーカーブの値に置き換えられます。

ラジオを聴く

Ⓐ バンドを切り替えます

コントロールノブⒶの上側を押すと、受信バンドが次のように切り替わります。

コントロールノブⒶの下側を押すと、受信バンドが次のように切り替わります。

- ステレオ受信中は ST インジケーターが点灯します。

Ⓒ プリセット局を受信します

ボタンを押すと、押したボタンにメモリーされている放送局を選局します。

Ⓐ 放送局を選択します

コントロールノブⒶの左右側を押すと、受信状態の良い放送局を自動的に受信します。

- チューニングモードによって、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信することができます。チューニングモードの設定は「メニュー設定」(p18)の“AUTO1/AUTO2/MANUAL”項目で行います。

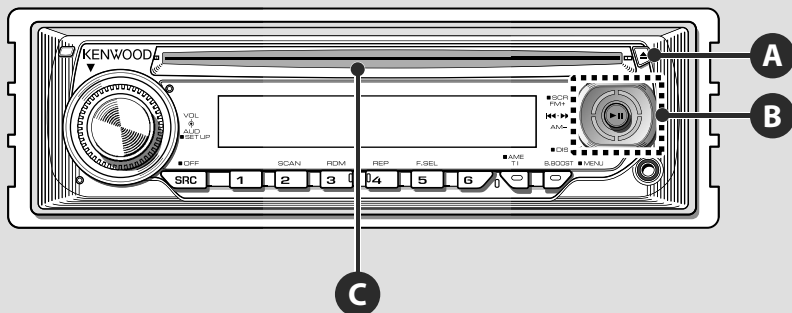
Ⓒ 放送局をプリセットします

2秒以上押すと、押したボタンに受信中の放送局がメモリーされます。

Ⓑ 放送局を自動的にプリセットします

2秒以上押すと、受信状態の良い放送局を自動的的にメモリーします。

- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的に終了します。

CDやオーディオファイルを聴く

C A

CD/オーディオファイルをプレイします

ディスク挿入口Ⓒにディスクを挿入すると、差し込んだディスクがプレイされます。

ディスクを取り出します

イジェクトボタンⒶを押します。

- ディスクは水平に差し込んでください。
- 8cmディスクを取り出した後は、ディスク挿入口に放置せず、速やかにケースなどに保管してください。放置しておくと、振動などにより落下する場合があります。
- ディスクが入っているときは インジケーターが点灯します。
- 通常のCDのほかに、オーディオファイルが収録されたCD-Rなどをプレイできます。
  プレイできるオーディオファイルの種類、フォーマットなどについては、「オーディオファイル」（p20）をご覧ください。
- その他のいろいろなプレイ方法については、「Music Disc & Audio File Listening」（p14）をご覧ください。

B

プレイ/ポーズします

コントロールノブⒷの中央を一度押すと、プレイを一時停止します。

もう一度押すと、プレイを再開します。

B

早送り/早戻しします

コントロールノブⒷの右側を押し続けると、押している間、曲が早送りされます。また、コントロールノブⒷの左側を押し続けると、押している間、早戻しされます。

- オーディオファイルの早送り/早戻し中には音は出ません。

B

プレイする曲を選びます

コントロールノブⒷの右側を押すと、次の曲がプレイされます。

コントロールノブⒷの左側を押すと、プレイ中の曲の先頭/前の曲がプレイされます。

B

プレイするフォルダを選びます

コントロールノブⒷの上側を押すと、次のフォルダの曲がプレイされます。

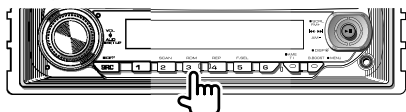
コントロールノブⒷの下側を押すと、前のフォルダの曲がプレイされます。

Music Disc & Audio File Listening

CD やオーディオファイルをいろいろな機能を使ってプレイできます。

- CD とオーディオファイルの基本的な聴きかたは「CD やオーディオファイルを聴く」(p13) をご覧ください。

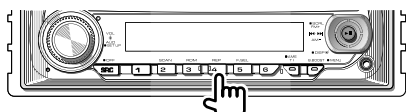
ランダムプレイ

プレイ中のCD、またはフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。

(CDプレイ中)
(オーディオファイルプレイ中)

押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。

- コントロールノブの右側を押すと、次の曲をランダムに選択します。

リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクやフォルダ内の曲を繰り返しプレイします。

押すたびに、次の順でオン/オフされます。

CDプレイ中

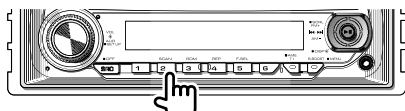
表示	状態
TRAC REP	トラックリピートオン
REP OFF	リピートプレイオフ

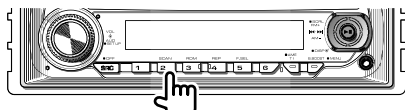
オーディオファルプレイ中

表示	状態
FILE REP	ファイルリピートオン
FOLD REP	フォルダリピートオン
REP OFF	リピートプレイオフ

スキャンプレイ

ディスクやフォルダの各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

1 スキャンプレイを開始します

(CDプレイ中)
(オーディオファイルプレイ中)

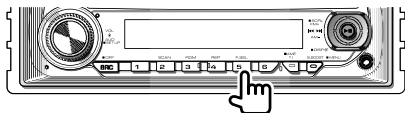
2 聴きたい曲のところで...

スキャンプレイが終了し、その曲からプレイされます。

- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

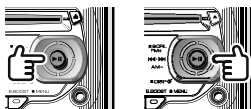
フォルダセレクト（オーディオファイルのみ）

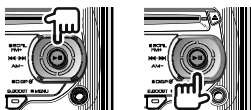
聴きたいオーディオファイルが入っているフォルダをすばやく選択します。

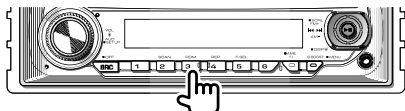
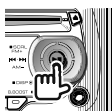
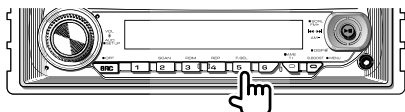
1 フォルダセレクトモードにします

▶ KENWOOD F

フォルダ名が表示されます。

2 フォルダを選びます

同一階層内でフォルダを選ぶときは

左側を押すたびに手前のフォルダへと移動し、右側を押すたびに次のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を移動するときは

上側を押すたびに 1 階層下へと移動し、下側を押すたびに 1 階層上へと移動します。

第1階層に戻るときは

3 表示中のフォルダをプレイします

フォルダセレクトを中止するときは…

タイトル/テキストスクロール

タイトル/テキストをスクロールさせます。

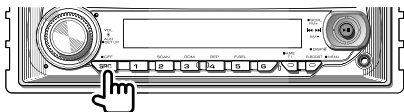
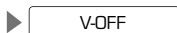
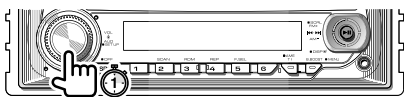
- スクロールできるのは次のタイトル/テキストです。
  - ディスクタイトル/トラックタイトル
  - 曲名/アルバム名/フォルダ名/ファイル名

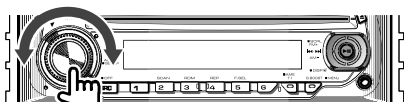
Audio Control

音響効果などを設定します。

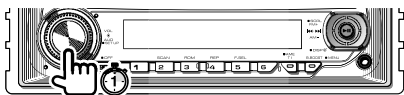
ボリュームオフセット

各ソースごとの音量の差を設定して、すべてのソースで同じ音量で聴けるように設定します。

1 設定したいソースにします

2 ボリュームオフセットを開始します

▶ V-OFF

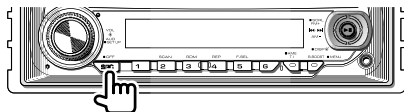
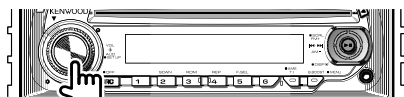
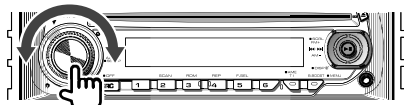
3 設定します

設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
V-OFF	－8 ～ 0 (AUXのみ：－8 ～ +8)

4 ボリュームオフセットを終了します

スピーカー設定

イコライザーカーブの値をスピーカーに合わせて微調整します。

1 STANDBYモードにします

▶ STANDBY

2 スピーカーマッチングモードにします

3 スピーカーを選択します

回すたびに、次の順で切り替わります。

表示	設定内容
STANDARD	標準的なスピーカーに合う設定。
MIDDLE	低音域のあまり出ない 小型のスピーカーに合う設定。
WIDE	低音域のよく出る 大型のスピーカーに合う設定。
NARROW	周波数帯域が狭い スピーカーに合う設定。

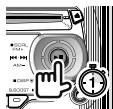
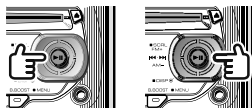
4 スピーカーマッチングモードを終了します

Display Control

ディスプレイに表示する情報を設定をします。

ディスプレイ選択

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

1 ディスプレイ選択を開始します

2 表示を選択します

押すたびに、次の順で切り替わります。

FM/AM受信、交通情報受信時

表示	設定内容
FREQ	周波数表示
CLOCK	時計表示

CDプレイ時

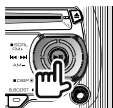
表示	設定内容
D-TITLE	ディスクタイトル
T-TITLE	トラックタイトル
P-TIME	トラックNo.&プレイタイム
CLOCK	時計表示

オーディオファイルプレイ時

表示	設定内容
TITLE	曲名&アーティスト名
ALBUM	アルバム名&アーティスト名
FOLDER	フォルダ名
FILE	ファイル名
P-TIME	ファイル名&プレイタイム
CLOCK	時計表示

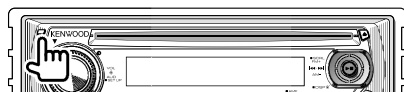
STANDBY時、ＡＵＸ時

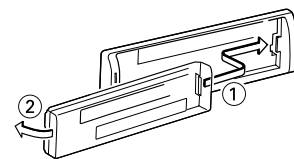
表示	設定内容
SRC NAME	“STANDBY”/AUXネーム表示
CLOCK	時計表示

3 ディスプレイ選択を終了します

- 時計表示に設定した場合は、すべてのソース時に時計が表示されます。
- ディスクタイトル、トラックタイトル、曲名、アルバム名が登録されていないとプレイタイムが表示されます。
- WMAファイルのプレイ中に“ALBUM”表示を選択すると、アーティスト名が表示されます。アーティスト情報がない場合は、プレイタイムが表示されます。

操作パネルの脱着

操作パネルを脱着します。

操作パネルを取り外す

パネルのロックが解除されて、パネルが取り外せます。

操作パネルを取り付ける

パネル右側の凹部と本体右側の凸部を合わせ、パネル左側を本体に合わせてロックします。

- パネルを取り外すと電源がオフになります。
- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する場合があります。パネルを取り外した後は、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、直射日光のあたる場所、湿度が高い場所、ほこりのかかる場所、などでは保管しないでください。

Menu

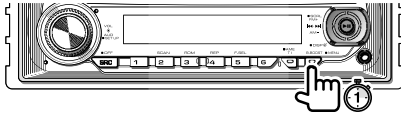
各種の機能を設定します。

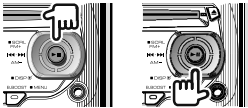
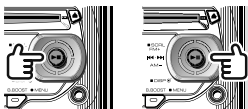
メニュー設定

各ソースごとに、各種の機能を設定します。

1 ソースを切り替えます

表示される項目は、ソースによって異なります。後記表のソース欄を参照してください。

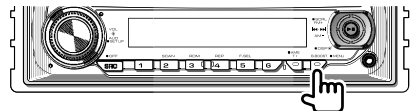
2 メニューモードにします

▶ MENU

3 設定する項目を選択します

4 各項目を設定します

- ページ数が表記されている項目の設定方法は、それぞれのページを参照してください。

表示	設定	設定概要	ソース
CLK ADJ	p19参照	時刻を設定します。	SB
DIM	OFF*/ON	ディスプレイの明るさを設定します。	
SPRM	ON*/OFF	サプリーム機能の設定をします。	AF
AUTO1/ AUTO2/ MANUAL	AUTO1*/ AUTO2/ MANUAL	放送局の選択方法を設定します。	Tuner
MONO	OFF*/ON	モノラル音声で受信します。	FM
NAME SET	p19参照	AUXソースに名前を付けます。	AUX
SCL	AUTO*/ MANU	テキスト表示を自動的にスクロールするか設定します。	
GUID ATT	OFF*/ATT	接続されているナビの音声ガイド時の設定をします。	SB
AUX	OFF/ ON1*/ ON2	ソース選択時に内蔵AUXを表示するか設定します。	SB
CD READ	1*/2	CDの読み取りモードを設定します。	SB

* お買い上げ時の設定状態を示します。

SB：スタンバイ中に設定できます。
AF：オーディオファイルプレイ中に設定できます。
Tuner：Tunerソース中に設定できます。
FM：FMを受信中に設定できます。
AUX：AUXソース中に設定できます。
ソース欄が空欄の場合は、すべてのソース中に設定できます。

5 メニューモードを終了します

- 各項目の詳細は「Term」（p21）をご覧ください。

時刻合わせ

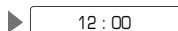
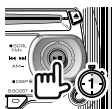
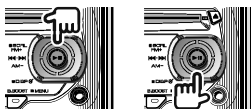
本機の時計を合わせます。

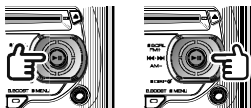
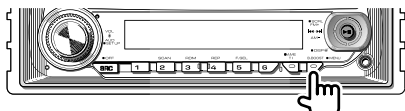
1 時刻合わせの項目を選択します

▶ CLK ADJ

設定項目の選択のしかたは「メニュー設定」(p18) を参照してください。

2 時刻合わせを開始します

▶ 12 : 00

3 “時” を調整します

4 “分” を調整します

5 時刻合わせを終了します

- 時刻合わせは、スタンバイ中に行えます。基本的なメニューモードの操作方法は「メニュー設定」(p18)をご覧ください。
- “分” を調整したときには、時計合わせ終了時に00秒からスタートします。

ネームセット

AUXモードに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXネームセットの項目を選択します

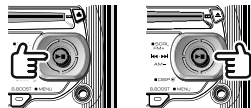
▶ NAME SET

設定項目の選択のしかたは「メニュー設定」(p18) を参照してください。

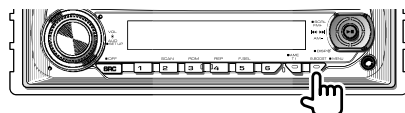
2 ネームセットを開始します

▶ AUX

現在設定しているAUXネームが表示されます。

3 AUXネームを選択します

左右側を押すたびに、次の順で切り替わります。

表示
AUX
DVD
PORTABLE
GAME
VIDEO
TV

4 ネームセットを終了します

- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- バッテリーから本機をはずすと、AUXネームは “AUX” に戻ります。

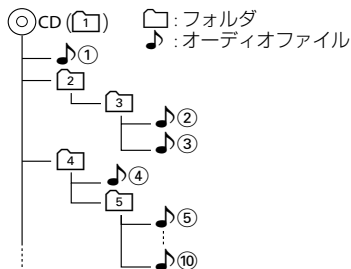
オーディオファイル

プレイできるオーディオファイル
MP3, WMA

使用できるメディア
CD-R/RW/ROM

使用できるディスクのフォーマット
ISO 9660 Level 1, ISO 9660 Level 2, Joliet, Romeo

上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアやデバイスの種類やコンディションにより正常にプレイできない場合があります。

オーディオファイルをプレイする順番
下記のようなフォルダ・ファイル階層のメディア/デバイスでは①から⑩の順にプレイされます。

オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを、www.kenwood.com/audiofileで公開しています。オンラインマニュアルには、この取扱説明書に記載されていない詳しい情報や注意事項が掲載されています。この取扱説明書とあわせて必ずお読みください。

Troubleshooting

? 操作スイッチを押しても動作しない
- ✔ システムに異常が発生している。
- ☛ リセットボタンを押してください(p8)。

? チューナーの感度が悪い
- ✔ 自動車のアンテナが伸びていない。
- ☛ アンテナを十分に伸ばしてください。

- ✔ アンテナコントロール電源が接続されていない。
- ☛ 「接続」(p26)を参照して正しく接続し直してください。

? ディスクが取り出せない
- ✔ ディスクが排出の途中で止まっている。
- ☛ ディスクが完全に排出されるまでイジェクトキーを押し続けてください。

? CDやオーディオファイルをプレイできない
- ✔ ディスクが異常に汚れている。
- ☛ 「メディアの取り扱い」(p9)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

? オーディオファイルをプレイ中に音飛びする
- ✔ ディスクに傷や汚れがある。
- ☛ 「メディアの取り扱い」(p9)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

- ✔ ディスク作成時の問題。
- ☛ ディスクを作成し直すか、ほかのディスクを使用してください。

Term

AUTO1/AUTO2/MANUAL

放送局の探し方を設定することができます。

AUTO1：放送局を自動的に見つけ出します。

AUTO2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

MANUAL：1ステップずつ周波数が変わります。

AUX（内蔵 AUX 入力）

この機能をオンにすることにより、AUXソースを選択できるようになります。

ON1：AUXソースに切り替えたときに、内蔵AUX端子に接続した外部機器の音声が出力されます。常に外部機器を内蔵AUX端子に接続しているときはこの設定にします。

ON2：AUXソースで電源をオンにしたときに、アッテネーター機能が働きます。外部機器の音声を聴くときは、ボリュームノブを時計回りに回してアッテネーター機能を解除します。この設定しておくと、外部機器を内蔵AUX端子に接続していないときに出る雑音を防ぎます。

OFF：AUXソースが選択できないようになります。内蔵AUX端子を使用しないときは、この設定にします。

CD READ（CD リード）

特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“2”に設定するとオーディオファイルのプレイはできなくなります。通常は“1”でお使いください。

1：オーディオファイル/CDプレイ時にオーディオファイルディスクと音楽CDを自動認識して再生します。

2：音楽CDとして強制的にプレイします。

DIM（ディマー）

ディスプレイの明るさ設定します。
“ON”にすると、暗くなります。

GUID ATT（ナビガイド）

カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定することができます。
“ATT”に設定すると、ナビ音声ガイド時にオーディオの音が小さくなります。
この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。
ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続してこの機能を使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオンに設定してください。また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。
なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

MONO（モノラル設定）

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなるときがあります。

MP3（エムピースリー）

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」（p20）をご覧ください。

SCL（スクロール）

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、ファイルネーム、曲名/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。この機能を“AUTO”に設定しておくとスクロール表示を繰り返し行い、“MANU”に設定しておくと表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

SPRM（Supreme; サプリーム）

低ビットレートでエンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補完する技術です。補完は圧縮フォーマット（MP3またはWMA）別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。なお、オーディオファイルのフォーマットやエンコード時の設定の関係によっては、効果が分かりにくい場合があります。

V-OFF（ボリュームオフセット）

オーディオコントロールで"V-OFF"を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとで音量差を設定しておくことができます。

WMA（Windows Media™ Audio）

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」（p20）をご覧ください。

Error

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

TOC ERR :

- ディスクが異常に汚れています。
- ディスクに傷が多く付いています。
- ディスクが裏返しになっています。

E-05 :

ディスクが読めません。

E-15 :

ディスクに本機で再生できるデータが収録されていない。

NA FILE:

サポートされていないオーディオファイルのフォーマットをプレイしようとしました。

COPY PRO:

プレイしようとしたWMAファイルは、コピープロテクトされています。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

PROTECT:

スピーカーコードがショートしていたり、車の金属部分に接触してプロテクション機能が働いている。

➡ スピーカーコードを正しく配線または絶縁してからリセットボタンを押してください。

なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービスセンターへご相談ください。

HOLD :

本機の内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。

➡ 本機の取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

E-99 :

何らかの原因で正常に動作していない。

➡ イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービスセンターへご相談ください。

IN インジケーターが点滅 :

CDプレーヤーが正常に動作していない。

➡ ディスクを取り出してから、ディスクを入れなおしてください。

READING :

ディスクに収録されているデータのチェック中です。

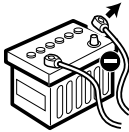
取り付け時のご注意

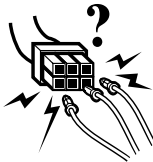
⚠警告

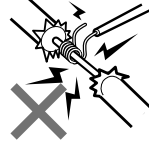
禁 止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品は DC12V⊖ アース車専用です。

実 施

配線作業中は、バッテリーの ⊖ 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。

実 施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

禁 止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

禁 止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

実 施

本製品を取り付けるときには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。
また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

禁 止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

禁 止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

実 施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

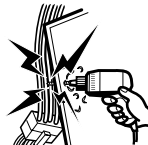
実 施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本製品ヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本製品との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。
車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

実 施

電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。

注 意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。
火災の原因になります。

実 施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

注 意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

実 施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

注 意

本製品を使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

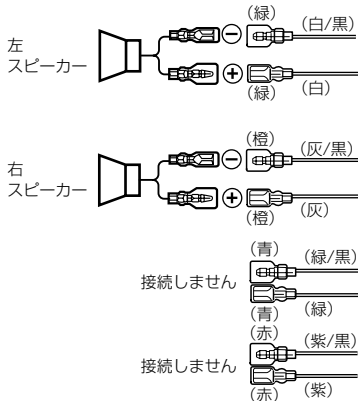
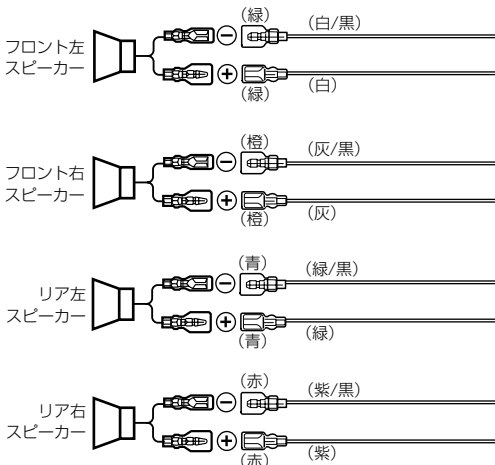
接続

実 施

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの ⊖ 端子を外してください。

1. エンジンキーを抜き、バッテリーの ⊖ 端子を外します。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリー電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの ⊖ 端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン（p8）を押します。

注 意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

注 意

- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

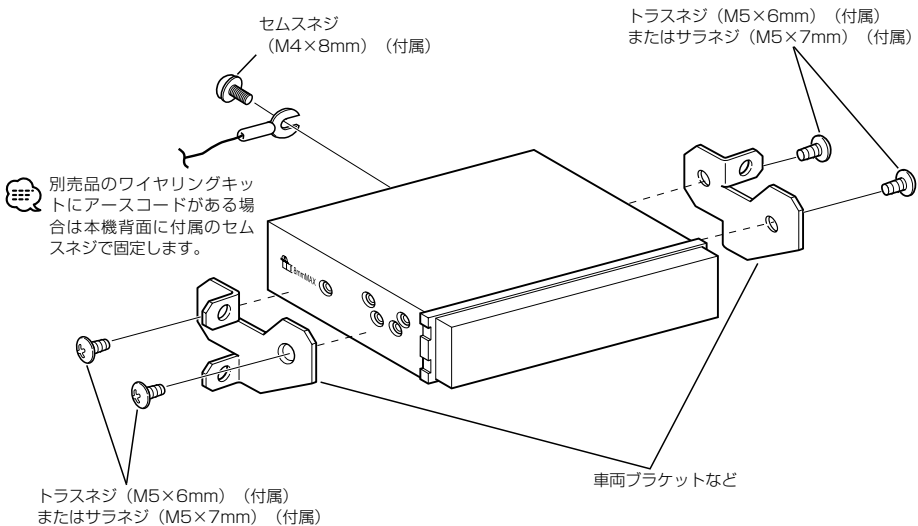
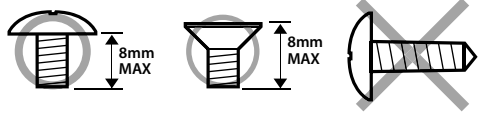
ヒューズ（10A）
アンテナ入力
車両アンテナ端子
電源ハーネス
（付属）
パワーコントロール（青/白）
P.CONT
別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。
アンテナコントロール（青）
ANT CONT
オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナの
ブースターアンプの電源端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。
ミュート入力（茶）
MUTE
ナビゲーションシステムのミュート端子に接続してください。
注 意
ミュート入力（茶）をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「メニュー設定」（p18）を見て、“GUID ATT”項目を“OFF”に設定してください。
アクセサリー電源（赤）⊕
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。
ACC
アクセサリー
電源
エンジン
キー
ヒューズ
バッテリー電源（黄）⊕
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに
関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。
BATT
バッテリー
電源
メイン
ヒューズ
アース（黒）⊖
車の金属部分（バッテリーのマイナス側と導通して
いるシャーシなどの一部）へ接続してください。
バッテリー

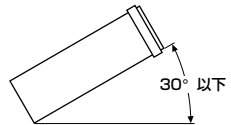
取り付け

付属のトラスネジ（M5 × 6mm）またはサラネジ（M5 × 7mm）を４本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

付属ネジ	個数
トラスネジ (M5 × 6 mm)	4
サラネジ (M5 × 7 mm)	4
セムスネジ (M4 × 8 mm)	1

注 意

取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。
なお、取り付けネジはトラスネジまたはサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。

注 意

- 本機の取り付け角度は 30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け / 取り外しをしないでください。破損することがあります。

- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）
：76.0 MHz ～ 90.0 MHz（100 kHz）

実用感度（S/N：30 dB）
：9.3 dBf（0.8 μV/75 Ω）

S/N 50 dB感度
：15.2 dBf（1.6 μV/75 Ω）

周波数特性（±3.0 dB）：30 Hz～15 kHz

S/N比：70 dB （MONO）

選択度（±400 kHz） ：80 dB以上

ステレオセパレーション：40 dB（1 kHz）

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）
：522 kHz ～ 1629 kHz（9 kHz）

感度：28 dBμ（25 μV）

CDプレーヤー部

レーザーダイオード：GaAlAs

デジタルフィルター（D/A）
：8 倍オーバーサンプリング

D/Aコンバーター：24 Bit

回転数：500～200 rpm（線速度一定）

ワウ& フラッター：測定限界以下

周波数特性：10 Hz～20 kHz（±1 dB）

高調波歪率：0.01 % （1 kHz）

S/N比：105 dB （1 kHz）

ダイナミックレンジ：93 dB

MP3デコード：MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠

WMAデコード：Windows Media™ Audio 準拠

オーディオ部

最大出力：50 W×4

定格出力（4Ω、1kHz、10%THD以下）
：30 W × 4

スピーカーインピーダンス：4～8 Ω

オーディオコントロール
バス：100 Hz ± 8 dB
ミドル：1 kHz ± 8 dB
トレブル：10 kHz ± 8 dB

AUX入力

周波数特性：20 Hz～20 kHz ±3 dB

入力最大電圧：1200 mV

入力インピーダンス：10 kΩ

電源部

電源電圧：14.4 V （11～16 V）

最大消費電流：10 A

寸法・質量

埋込寸法（W×H×D）：178×50×160 mm

質量（重さ）：1.1 kg

付属部品

電源ハーネス：1本

トラスネジ（M5×6 mm）：4本

サラネジ（M5×7 mm）：4本

セムスネジ（M4×8 mm）：1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買上げの日より 1 年です。

修理を依頼されるときは

「Help?　Troubleshooting」（p20）を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。（右記「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は ...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は ...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
（本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- **技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。**
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- **部品代：修理に使用した部品代です。**
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	〒 007-0834	札幌市東区北34条東14丁目1-23	☎ (011) 743-7740

東北			
仙台サービスセンター	〒 984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12 (サンライズ大和)	☎ (022) 284-1171

関東・信越			
さいたまサービスセンター	〒 330-0801	さいたま市大宮区土手町1-2 (JA共済埼玉ビル1F)	☎ (048) 647-6818
千葉サービスセンター	〒 277-0081	柏市富里1-2-1	☎ (04) 7163-1441
横浜サービスセンター	〒 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
新潟サービスセンター	〒 950-0923	新潟市姥ヶ山1-5-37	☎ (025) 287-7736
目黒サービスセンター (修理持込専用窓口)	〒 153-0042	目黒区青葉台3-17-9	☎ (03) 3477-5411*

*目黒サービスセンターへの電話でのお問い合わせは、当社カスタマーサポートセンターに転送にて承ります。

中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〒 462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎ (052) 917-2550
静岡サービスセンター	〒 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	〒 920-0036	金沢市元菊町21-87	☎ (076) 265-5045

近畿・四国			
大阪サービスセンター	〒 532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎ (06) 6394-8075
高松サービスセンター	〒 760-0068	高松市松島町3-1	☎ (087) 835-2413

中国			
広島サービスセンター	〒 731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎ (082) 832-2210

九州			
福岡サービスセンター	〒 815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎ (092) 551-9755
鹿児島サービスセンター	〒 890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10 (パレス鴨池1F)	☎ (099) 251-6347
沖縄サービスセンター	〒 901-2101	浦添市西原4-36-17（（株）物琉2F)	☎ (098) 874-9010

■ サービスセンターの営業時間のご案内
受付時間　10:00～18:00 (土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒 192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

● 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル　0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133

FAX　045-933-5553

住所　〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2

受付時間　月曜～金曜　9:30～18:00

土曜　9:30～12:00、13:00～17:30

（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

● 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、各営業所にご相談ください。